

For

Our Policy is
" *For* the Society, *For* the Patient, *For* Myself "



Photo by S.KUDOU

CONTENTS

- 映画紹介 『アカシアの道』……………1・2
- 病気について 『認知症』……………3・4
- 事業紹介 『就労移行支援とNPO法人
メンタル・ケア・サポートうみねこ幸房』…5・6
- 特集 『認知症になっても安心して暮らせるまちづくり』……7・8
- トピックス 『青仁会ふれあい秋祭り』……………9
- おすすめの一冊 『体重26キロ、体脂肪率3%』……………10
- 花言葉 『ガーベラ』……………10



おかあさん、私、
ずっと手をつないでほしかった。

松岡錠司監督作品

アカシアの道

a Matsuoka Grergr Film Acacia Walk



Story

編集者、木島美和子…。

凄まじいペースで働く彼女の元に

「母親の物忘れが激しくなっている」

との知らせが届く。

大学進学を機に家を出てから、ここ三年はろくに連絡もしていなかった母親の急変に戸惑う美和子。

母かな子は、教師の傍ら独り身で美和子を育てた。その厳しく辛い育て方に耐えられず、いつまでも自分を1人の人間として認めてくれない母親から逃げるように去った美和子。

「まさかあの母親が。しかも物忘れ?!」

独立を果たした彼女を「母と娘」という関係が追いかけて縛る。

かな子は「アルツハイマー型認知症」を患っており、病状は思ったより遙かに深刻だった。

美和子は仕事を在宅で出来るものに切り替え、母の面倒を見ながら暮らすこととなる。

かな子の記憶は、美和子が子供時分の頃まで逆行し、身の回りの事何一つ満足にこなせず、そのうえ美和子を子供の頃と同じ内容、同じ文句で叱りつける。

そんな日々に嫌気がさし、逃げるように恋人と旅行に出かけた美和子。しかし、不安にさいなまれ、タクシーで深夜帰宅すると、案の定かな子は家にいなかった。



世間体を気にし、警察に通報できずにいる美和子。

自嘲したそのとき、川田新一という青年が、かな子を連れ帰ってくる。

「自分の親の面倒ぐらい見ろよな！」

叩きつけられるような言葉に、美和子は自分の苦しみは誰にも分かりはしないと孤独感を募らせる。

旅行以来、恋人との関係もぎくしゃくし…

「みんな母親のせい…」

「母と娘」の関係はどうやって修復されるのか…。



原作「アカシアの道」

この映画はコミックの映画化で、原作は漫画家近藤ようこ作。

映画とはまた違った良さがあるのでは？

おすすめの一冊です。



見どころ

誰もが避けては通れない年老いた親の介護。

自分の仕事や生活を犠牲にして介護を行わなければならない介護者にとってのストレスは大きいものです。

介護ストレスの結果、介護者も精神的不調を生じ、自殺に追い込まれるケースや、心中・殺人事件へと繋がるケースも増加しているのが介護の現状です。

この映画では、主人公美和子の心理が見どころです。子供の頃に受けた心の傷と介護の問題を美和子が葛藤しながらどう乗り越えていくのか、等身大の女性がひとつひとつ出来ることから歩いていく姿に感動することでしょう。

(青陽館 小松美智子)



認知症ってどんな病気？



認知症の定義

「認知症」とは「脳や身体の疾患を原因として、記憶・判断力などの障害がおり、普通の社会生活が送れなくなった状態」と定義されています。

「久しぶりに会った人のことが思い出せない…」

このような経験は誰にでもあります。

「もの忘れ」は自然な老化によっておこる「単なる歳のせい」で、誰にでも起こります。一方、「認知症」は「病気」であり、単なる「もの忘れ」ではありません。

認知症の症状とは

中核症状

- 新しく経験したことを記憶にとどめることが困難となる。
- ここはどこで、今がいつなのか、わからなくなる状態。
- 計画を立てる、組織化する、順序立てる、抽象化する、判断するということが出来なくなる。

※認知機能に障害が生じる

その他の症状

- 不安
- 抑うつ
- 興奮
- 徘徊
- 不眠
- 被害念慮
- 妄想

認知症かもしれません

■介護する家族が、最初に気づいた症状

同じことを言ったり聞いたりする



物の名前が出てこなくなった



以前はあった関心や興味が失われた



置き忘れやしまい忘れが目立つ



日常でのちょっとした変化に気づいて下さい

日課をしなくなった



時間や場所の感覚が不確かになった



本間 昭：毎日ライフより掲載

◆ 認知症の種類 ◆

脳血管型認知症

脳の血管が詰まったり破れたりすることによって、その部分の脳の働きが悪くなり認知症になることがあります。脳血管性認知症は、障害された場所によって、ある能力は低下しても、別の能力は比較的大丈夫という様に、まだら状に低下し、記憶障害がひどくても人格や判断力は保たれていることが多いのが特徴です。

アルツハイマー型認知症

原因は不明ですが、脳内でさまざまな変化が起こり、脳の神経細胞が急激に減ってしまい、脳が萎縮して(小さくなって)高度の知能低下や人格の崩壊がおこる認知症です。初期の症状は徐々に始まり、ゆっくり進行するもの忘れが特徴です。古い記憶は保たれますが、最近の出来事を覚えることが出来ません。抑うつや妄想ではじまることもあります。

レビー小体型認知症

(脳の深部の病気)

- 認知症の中ではアルツハイマー型の次に多い。
- もの忘れ、幻視(生き生きした人、動物の姿など)
- 症状の変動が強い
- パーキンソン症状(歩きにくい、転びやすい、動きが遅い、手が不器用など)
- 薬の副作用が出やすい

※その他、認知症症状を伴う色々な疾患もあります。

前頭側頭型認知症

(脳の前部の病気)

- 比較的まれに発症
- アルツハイマー病に比べ発症が若い傾向
- もの忘れよりも人格変化が目立つ
- 自己中心的、短絡的行動、意欲低下
- だらしない行動
- 食事の好みの変化、偏食、過食、繰り返し行動
- 言語障害など

◆ 症状にお気づきの方は早期の受診を ◆

「認知症」は記憶障害をはじめ、様々な症状があるため、診断が難しい場合もあります。その為、本人や家族から詳しく問診したり、さまざまなテストや検査を行って診断することが多いようです。また、認知症の方

は、ご家族以外の方にはよそ行きの顔を見せることが多いようです。信頼しているご家族でしか分からない症状も多いと思われるので、医師には日頃の様子をしっかりとお伝え下さい。

当院では画像検査(頭部CT・MRI(依頼))、神経心理学検査、脳波検査による認知症検査を実施しています。



< 青南病院のご案内 >

診療科：精神科・神経科・内科・心療内科

外来診療：月曜日～土曜日

午前9：30～ 午前11：30

休診：日曜日

※待ち時間軽減のため「予約制」で行っています。

新患・急患の方はこの限りではありません。

TEL. 0178-27-2016

就労移行支援事業ってなんだろう？

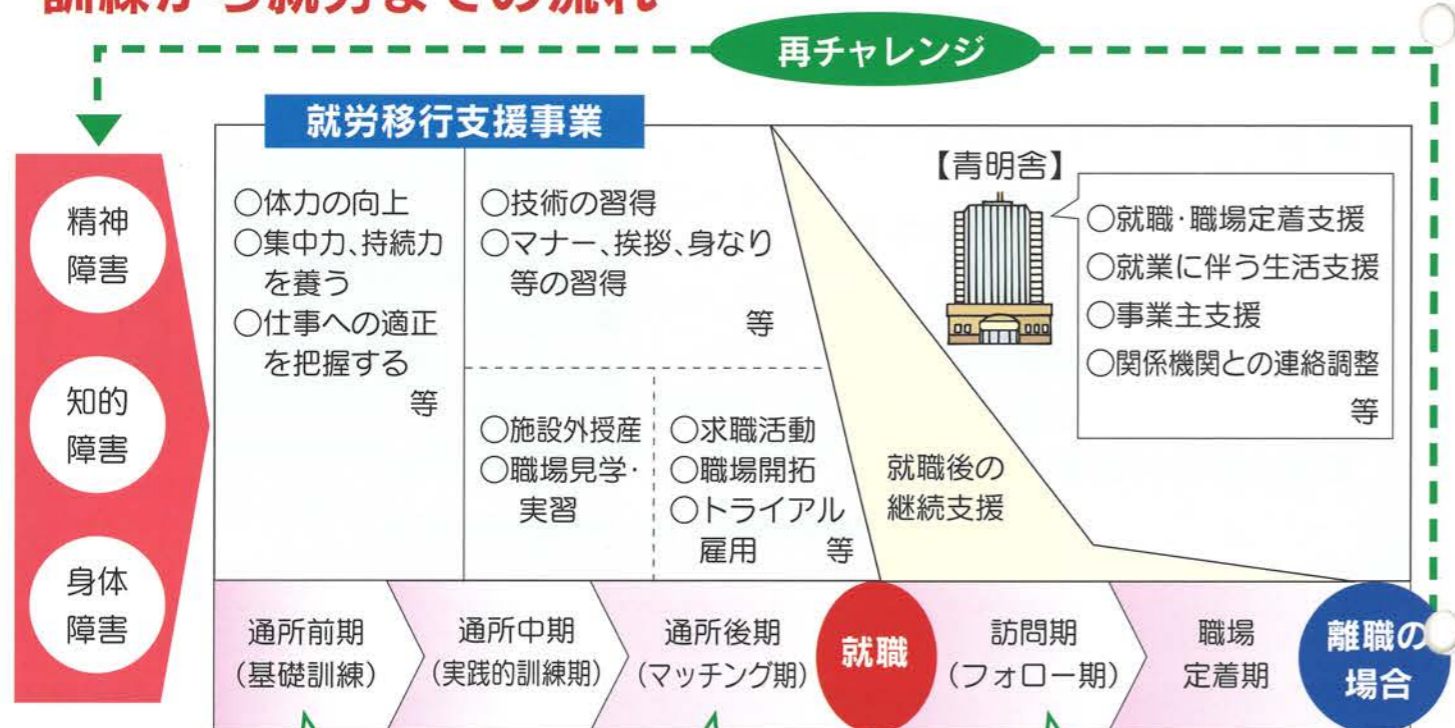
どんな事業なの？

この事業は、一般就労を希望している65歳未満の障害をもった方を対象に行っています。企業等への就労を希望する方に一定期間(原則2年)の訓練を通して知識・能力の向上を図ります。

サービス内容

サービス内容は、事業所内や企業において作業や実習を実施し、適正にあった職場探しや就労後の職場安定のための支援を行っています。

訓練から就労までの流れ



Point

定期的に通所する事で、体力・集中力を向上させ、トレーニングを通して自分の特性を知ることが必要です。職場実習先の選定、職場見学、職場実習を通して実習先の企業に「働ける」という事をアピールします。

Point

職場実習を通して、障害に理解のある企業にのみ打診を行います。また、障害者が働いてみたい、という職場に応募に行います。

Point

雇用後の就労状況について職場訪問を実施します。本人と職場側の現状をすり合わせ、支援を行います。本人の自己評価と現状、職場側の評価を確認し、能力向上を目指します。

NPO法人
地域生活自立支援センター
メンタル・ケア・サポート

うみねこ幸房



①うみねこ幸房とは？

NPO法人 地域生活自立支援センター「メンタル・ケア・サポート」は、これまで精神障害者小規模作業所として運営してきましたが、障害者自立支援法下での「就労移行支援事業所 うみねこ幸房」を平成20年4月からスタートさせ、障害者の就労訓練として活動をしています。

②どんなトレーニングをしているの？

うみねこ幸房ではパンづくり・ランチ(弁当)の製造を中心とした作業に取り組んでいます。一般企業で働くために必要な挨拶、マナー・職場のルールなども下記の作業を通しながら身につけていきます。



このような
トレーニングを
行っています



パンづくり

ランチ・弁当

喫茶

チラシ配り

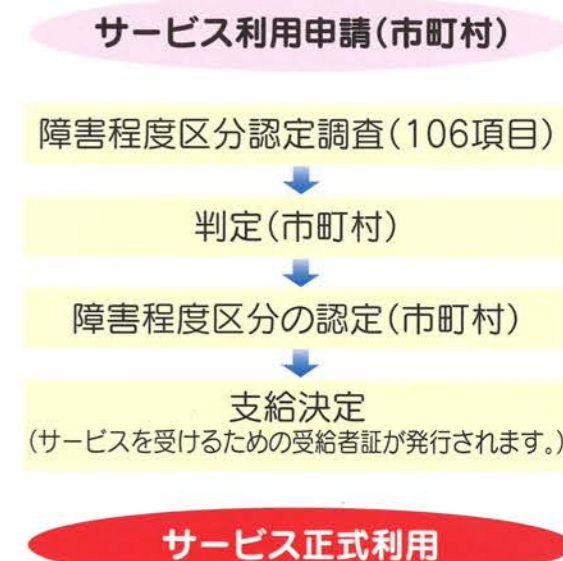
農作業

メンテナンス

③利用対象者は？

障害種別は問いません。トレーニングを行って一般企業へ就労を希望したいという方が対象になります。

④利用までの流れ



認知症になっても安心して暮らせるまちづくり

認知症地域支援体制構築等推進事業

この事業は、青森県から当法人に委託されたモデル事業です。地区や町内などの小さな単位で、認知症の方やその家族を支え、住み慣れた土地、住みなれた家で安心して暮らせるように、ネットワークをつくり、他の市町村等へも普及させることが目的です。

認知症地域支援体制構築事業を行うために3つ事業を立ち上げました。

認知症 ケアサポート 事業

看護師、介護福祉士等の専門職で認知症ケアサポート委員を結成。認知症対応事例集を作成。その中でさまざまな事例を検討し、地域支援につながるような社会資源を探り、事例集に記載し、情報提供を行います。

認知症 安心マップ 作成事業

田面木地区をモデル地区とし、民生委員を中心とした認知症安心マップ作成委員を結成。担当する地域の情報を収集し、危険な場所や、認知症の方々を支援して下さる、協力員、民間事業所等をマップ上に記載し、実際に地域住民とのつながりを視覚に訴えることで、すぐに活用できる地図を作り、住民へ情報提供を行います。

認知症 徘徊SOS ネットワーク

田面木地区の町内会長や地域の各種団体長を中心に委員を結成し、地域支援のネットワーク化を図ります。実際に認知症の方が徘徊し、行方不明になった場合、警察や消防といった公的機関、地域に根ざした事業者、地域住民との連携を組織することで、徘徊者を速やかに安全に保護することができる体制を作ります。

地域支援のネットワーク化とは？

昔は当たり前だったことですが、「長屋の住民と大家さん、土地を借りて田畑を耕す農家と地主さん。相談できて頼れる人が側にいる。」そうした信頼関係のあった近隣の人たちとの付き合いをもう一度作り上げることが、地域支援のネットワーク化です。弱者と呼ばれる子供や高齢者、守らなければならない大切な人を守るために、警察や市町村、近所の人たちを巻き込み、相互関係を図式化することで、組織的に支援体制を作り、困っている人を見逃さない地域にしていくことです。

徘徊模擬訓練とは？

認知症の方が行方不明になったとき、徘徊者の情報を共有し、徘徊者を速やかに安全に保護する訓練です。徘徊者を発見した後の連絡方法や、認知症の方を無理なく誘導する方法など、実際に徘徊者役をたてて行うことで、速やかに保護するというを身につけるために行います。そのためには認知症の症状を理解し、やさしく声掛けする練習も必要です。「見知らぬ人に声をかける」できそうで、なかなかできないことです。自分から行動を起こす勇気を身につけることが、模擬訓練の目的です。

大谷 るみ子氏 講演会

大牟田市認知症ケア研究会代表
社会福祉法人 東翔会 グループホーム ふあみりえホーム長

認知症支援体制構築事業 研修会が当法人千葉記念講堂で開催されました。「まちでみんな認知症を包む」と題し、NHK「プロフェッショナル」にも出演し活躍されている、大谷るみ子氏を迎えての講演でした。

まず最初に、認知症の基礎知識についてのお話であり、認知症により無くなった部分のみに着目するのではなく、残された能力や過去に得たものを活かすことが出来るよう、得意なことを目立たせるような配慮をすることが重要だと話され、高齢者の皆様の生き活きとした笑顔

あふれる写真がスライドに登場しました。

また、認知症高齢者を支えることは、子供も見守ることにともながり、世代交流となることをお話していました。住民力・世代力・自分力を付けることが認知症高齢者を支えるまちづくりに必要と述べられ最後の締めくくりとなりました。



徘徊模擬訓練 田面木まごころネットワーク

平成20年1月30日(日)実施

今回の徘徊模擬訓練は、相手を傷つけないように声掛けをしながら、必要なことを聞き出し、安全な場所へ保護することをねらいとしました。方法は、1グループ10名単位となり、上田面木・中田面木・下田面木地区を徘徊している3名の捜索をおこない、参加者一人ひとりが徘徊役へ声掛けをする方法としました。

午前10時、田面木地区社会福祉協会有賀会長の開会の挨拶を頂きいよいよスタートとなりました。警察への連絡を嶽山防犯部長がおこない、地域住民の方総勢73名が徘徊捜索を開始しました。徘徊者を見つけると、戸惑いながらもなんとか安全なところへ連れていこうと必死な様子が見られました。



に探した時があるが、今日は大勢で楽だった。実際はもっと厳しいものだ」と切実にお話になられた方もいました。徘徊者役からは、「大勢で声をかけられ恐怖心を感じた。」など様々な意見が交わされました。

徘徊模擬訓練をおこなうことで、認知症の方への理解を深めると同時に、人と人との繋がりも育て、安心して過ごせるまちづくりの構築に繋がるのだということを改めて感じさせられた訓練でした。

ご協力を頂いた皆様へ心から感謝致します。ありがとうございました。



青仁会ふれあい秋祭り

第6回青仁会ふれあい秋祭りが9月20日開催されました。

この祭りは、施設を開放し、入院患者様および入所者様、他外来患者様や施設利用者様などの障害者の皆様と、地域住民の皆様との交流を深め、地域医療の普及を図ること、御家族と患者様・利用者様の交流の場としていただくという主旨で開催しています。

今年も、「展示」「体験」「演芸」「屋台」の4部門を地域の皆様に協力していただきました。展示・体験では、毎年恒例の高齢者や統合失調症の疑似体験を行いました。その他、口腔ケアの展示や、高齢者・精神保健福祉相談、健康相談を実施し、普段相談しにくい悩みを相談できる機会として地域の方にも活用していただきました。



↑地域の方々もたくさん遊びにきてくれました。



↑バーチャルハルシネーション体験



演芸は、福聚保育園児の「和太鼓」からスタートしました。子供たちの迫力ある太鼓に患者様からも「すごいなあ。」という声沢山聞かれ、大好評でした。他、田面木保育園児の「歌・踊り」、田面木婦人会の皆様の「手踊り」、宮沢賢治を題材にした講演、光星学院吹奏楽部による演奏と計5団体による演芸が行われました。どの演芸にも沢山のお客様がいらっしゃいました。



←保育園児の和太鼓演奏！迫力がありました！

屋台は「むつ食品」「こだまの園」「田面木の家」「うみねこ幸房」の地域の皆様にきていただきました。こちらも好評で全て完売することができました。

今年も沢山の地域の皆様に協力していただきました。ご協力いただいたことで、患者様や入所者様に楽しい時間を過ごしていただくことができました。

(南寿の里 嶋脇真澄)



←利用者様も外に出て楽しんでいました。

..おすすめの一冊..

「体重26キロ、体脂肪率3%」

病名はひとつ。たどる道は無数。生きる目的も食事、楽しみも食事、辛いのも食事。拒食症とともに歩んできた記録。



著者/内海 真知子
出版社/日本文学館
発行年月/2008年6月

【あらすじ】

「太る⇒スタイルが悪い⇒異性に好かれな
ない⇒自分に自信がなくなる⇒愛される資格が
ない⇒鏡を見るのが嫌になる⇒人生を楽しめ
ない…」

○ダイエットの始まりは高2の春休み。生きる
目的は「太らない事」。体重はみるみる減少し、
気づけば「体重26キロ 体脂肪3%」。抵抗しな
がら精神科での入院治療が開始する。

「1人で治せるほどこの病気は単純ではない。
生きてください。道は必ず繋がっている。」

著者の言葉1つ1つに重みを感じ、考えさせ
られる1冊です。

【所感】

現代の若者に増加傾向にある摂食障害。著者
も摂食障害を抱えながら家族、主治医、友人…
とたくさんの関わりの中で闘病生活を送り、周
囲の愛情あふれる言葉に支えられながら、少し
ずつ回復への道を辿ったように思います。

「痩せている事が美しい」という概念が、過剰
なダイエットに繋がり発症することも少なく
ありません。是非、この本を若い年代の方に読
んでいただき、過剰なダイエットの怖さを知っ
ていただければと思います。

(青南病院 清川真澄)

花ことば

■名前由来 ■ドイツの自然科学者「ガーベル」の名を記念にしてつけられました。
■花言葉 ■(赤橙)神秘 (ピンク)崇高美 (黄色)究極美 (オレンジ色)我慢強さ

ガーベラ

開花期…4月～3月

花 色…赤橙・ピンク・黄色・オレンジ色・白
葉の形状…根生し、タンポポに似るが大きく、
裏面に毛がある。

草 丈…葉間から約30センチメートルの
花茎を出す。

原 産 地…南アフリカ



多くの花が、ギリシャ神話に登場するほどの歴史を誇っていますが、ガーベラはまだまだニューフェイス。その浅い歴史のわりに変貌には目をみはるものがあります。当初ガーベラといえば、一重で細い花びらの真紅のものしかありませんでしたが、次々と品種改良が重ねられ、色もカラフルになり、そして

八重咲や大輪のものが出来、あっという間に人気のある花になりました。

日本名は「花車(はなぐるま)」。花で飾った車のことですが、花車は「きゃしゃ」とも読み、「華やかで美しいこと。風流な様子。」という意味を持っています。

私達の理念

みんなのために

すべての人達に、分け隔てない最善の医療を提供するよう努め、
社会のニーズに応じて、自分達の出来る事を、実直に行っていきます。

あなたのために

利用者本位を基盤とした、こころ暖かな医療環境と
安心して受けられる安全な医療の提供に努めます。

わたしのために

自分達の仕事に誇りと責任を持ち、
自らに満足いく仕事内容であるよう専心いたします。

[診療・ご利用案内]

精神科・神経科・内科・心療内科 **青南病院** ☎0178-27-2016
●受付時間 8:30~11:30 午後は予約診療となります。土曜日午後・日曜日休診
医療機能評価認定病院です。

通所リハビリテーションセンター **青陽館** ☎0178-27-2016
●様々な社会復帰に向けたプログラムを用意しています。

介護老人保健施設 **南山苑** ☎0178-27-3027
在宅介護支援センター ☎0178-46-5222
高齢者通所リハビリテーション施設 **南陽館** ☎0178-27-3009
●入所及びショートステイ、デイケアなどお気軽にご相談ください。

認知症対応型共同生活介護
(グループホーム) **南寿の里** ☎0178-27-3027
●家庭的な雰囲気を提供いたします。気軽にご相談下さい。

精神障害者生活訓練施設 **青山荘** ☎0178-27-6638
●自立・社会復帰・社会参加のお手伝いをいたします。

精神障害者福祉ホーム **青風荘** ☎0178-27-7658
●入院の必要性はなく、住居の問題や多少の身辺自立に問題ある
精神障害者が対象になります。お気軽にご相談ください。

訪問看護ステーション **五福** ☎0178-41-1622
●営業時間 月~金曜日 8:30~17:30
営業日・営業時間外の訪問についてもご相談に応じます。24時間体制で看護相談に応じます。



Photo by N.AKETO

発行者/医療法人青仁会
千葉 潜

発行日/平成20年12月20日
年2回発行

当法人では意欲のある人材を募集しています。